



2019年9月26日

各位

会社名 リファインバース株式会社  
住所 東京都中央区日本橋人形町三丁目10番1号  
代表者名 代表取締役社長 越智 晶  
(コード番号: 6531)  
問い合わせ先 財務経理部長 北垣 栄一  
TEL. 03-5643-7890

(訂正・数値データ訂正) 2019年6月期 決算短信[日本基準] (連結)

当社は、2019年8月14日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。  
また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

2019年8月14日の公表後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明したので、訂正を行うものであります。

主な訂正要因につきましては以下の通りです。

- ① 固定資産の除却処理漏れ
- ② 貸倒引当金の計算誤り
- ③ 貯蔵品の計算方法誤り
- ④ たな卸資産の集計誤り
- ⑤ リース利息の計算誤り
- ⑥ 試作品生産にかかる費用の科目誤り
- ⑦ 売掛金と買掛金の二重計上誤り
- ⑧ リース債務の長短区分誤り
- ⑨ 未収収益、貸倒引当金の長短区分誤り
- ⑩ 上記修正に伴う税金関連仕訳の修正

2. 訂正の内容 (訂正箇所には下線を付し、ハイライト表示しております)

○サマリ情報 1 ページ目

<訂正前>

1. 2019年6月期の連結業績 (2018年7月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	2,526	4.7	<u>△256</u>	—	<u>△287</u>	—	<u>△337</u>	—
2018年6月期	2,410	5.1	11	△95.7	△15	△106.0	57	△81.9

(注) 包括利益 2019年6月期 △337 百万円 (—%) 2018年6月期 57 百万円 (△81.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	<u>△111.91</u>	—	<u>△56.0</u>	<u>△9.2</u>	△10.1
2018年6月期	19.05	18.60	3.4	△0.3	0.5

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	<u>3,122</u>	610	<u>19.3</u>	197.64
2018年6月期	3,102	882	28.3	292.42

(参考) 自己資本 2019年6月期 603 百万円 2018年6月期 878 百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	<u>△41</u>	<u>△166</u>	<u>78</u>	358
2018年6月期	57	△657	417	487

<訂正後>

1. 2019年6月期の連結業績 (2018年7月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	2,526	4.7	<u>△255</u>	—	<u>△289</u>	—	<u>△343</u>	—
2018年6月期	2,410	5.1	11	△95.7	△15	△106.0	57	△81.9

(注) 包括利益 2019年6月期 △343 百万円 (—%) 2018年6月期 57 百万円 (△81.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年6月期	<u>△113.96</u>	—	<u>△57.6</u>	<u>△9.3</u>	△10.1
2018年6月期	19.05	18.60	3.4	△0.3	0.5

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	<u>3,113</u>	604	<u>19.2</u>	195.62
2018年6月期	3,102	882	28.3	292.42

(参考) 自己資本 2019年6月期 596 百万円 2018年6月期 878 百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年6月期	<u>△58</u>	<u>△160</u>	<u>90</u>	358
2018年6月期	57	△657	417	487

## ○サマリ情報 2 ページ目

(参考) 個別業績の概要

## &lt;訂正前&gt;

1. 2019年6月期の連結業績 (2018年7月1日~2019年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	776	0.9	△363	—	<u>95</u>	<u>△59.2</u>	<u>△113</u>	—
2018年6月期	769	△6.6	△185	111.9	233	236.2	224	935.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期	<u>△37.80</u>	—
2018年6月期	74.96	73.26

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	<u>2,487</u>	<u>530</u>	21.0	<u>171.28</u>
2018年6月期	2,365	578	24.3	191.26

(参考) 自己資本 2019年6月期 522 百万円 2018年6月期 574 百万円

## &lt;訂正後&gt;

1. 2019年6月期の連結業績 (2018年7月1日~2019年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期	776	0.9	△363	—	<u>94</u>	<u>△59.5</u>	<u>△115</u>	—
2018年6月期	769	△6.6	△185	111.9	233	236.2	224	935.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期	<u>△38.44</u>	—
2018年6月期	74.96	73.26

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年6月期	<u>2,481</u>	<u>528</u>	21.0	<u>170.64</u>
2018年6月期	2,365	578	24.3	191.26

(参考) 自己資本 2019年6月期 522 百万円 2018年6月期 574 百万円

## ○添付資料 2 ページ～ 3 ページ 1. 経営成績等の概況

### <訂正前>

#### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、海外通商問題の動向や政策に関する不確実性の影響などもあり、先行きについて一層留意すべき状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。事業基盤の強化については、再生樹脂製造販売事業の新規事業として愛知県一宮市に新工場を開設しナイロンリサイクル事業を開始し収益源の多様化を図るとともに、昨年開始した製鋼副資材事業も旺盛な需要を背景に順調に成長しております。また産業廃棄物処理事業では廃プラ等の処理コスト急騰により収益が悪化しておりましたが価格転嫁について顧客理解を得る活動を継続したこと、新基幹システムを導入し現場から管理部門までの伝票処理等をデジタル化したことによるオペレーションの効率化、管理コストの削減などを実現したことなどから収益力は回復しており、今後の効率的な事業拡大が可能になりました。また更なる事業領域の拡大に向けて積極的に研究開発投資を継続するとともに、グループ各事業の収益管理及びコーポレート機能強化を目的として、新年度より事業部制の導入を決定しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 2,526,299 千円（前年同期比 4.8%増）、営業損失 256,651 千円（前年同期は営業利益 11,945 千円）、経常損失 287,703 千円（前年同期は経常損失 15,878 千円）、親会社株主に帰属する当期純損失 337,573 千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益 57,174 千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、記載のセグメント別売上高はセグメント間取引の相殺前の数値です。

#### (再生樹脂製造販売事業)

再生樹脂製造販売事業につきましては、企業の持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みの高まりなどから、弊社へのカーペットタイルの処理委託並びに再生樹脂原料の需要は底堅く推移しています。また新しく立上げたりサイクルナイロン製品及びプラスチック廃棄物の再生に関する新規問い合わせも増加しております。一方、八千代工場で行った大幅な保守・メンテナンス実施が想定以上に長引き、再生樹脂の生産数量減少及び使用済みカーペットタイルの受入制限などに繋がりました。また新規ナイロン樹脂再生事業として一宮工場の立ち上げ費用が増大したことや、受注に向けて動いておりました大型案件が翌期にずれこむことになりました。その結果、売上高は 766,875 千円（前年同期比 0.8%増）となり、セグメント損失は 264,074 千円（前年同期はセグメント損失 50,718 千円）となりました。

#### (産業廃棄物処理事業)

産業廃棄物処理事業につきましては、カーペットタイルリサイクルに関連したオフィス系改修工事を伴う内装系廃棄物処理は順調に推移しております。またマンション等のリフォーム・リノベーション案件においても、解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスにより多くの引き合いを頂き、業績に寄与しております。その一方、前期から引き続き中国の廃プラスチック輸入禁止の影響を受け、廃棄物処分費が大幅に高騰、またオリンピック需要を含む建設系需要の高まりから外注加工費のコスト上昇が続きました。得意先への価格転化は下半期には理解が得られ収益が改善しましたが、結果として売上高は 1,771,504 千円（前年同期比 6.1%増）、セグメント利益は 243,364 千円（前年同期比 9.9%減）となりました。

#### (2) 当期の財政状態の概況

##### ① 資産、負債及び純資産の状況

###### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は 1,113,756 千円となり、前年度末と比べ 54,586 千円減少しております。これは主として現金及び預金が 138,259 千円減少、未収還付法人税等が 20,500 千円増加したことによるものです。

当連結会計年度末における固定資産は1,950,854千円となり、前年度末と比べ91,568千円増加しております。これは、主として有形固定資産が150,724千円増加、投資その他の資産が62,149千円減少したことによるものです。

当連結会計年度末における繰延資産は58,077千円となり、前年度末と比べ16,493千円減少しております。これは、開業費を16,493千円償却したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は844,652千円となり、前年度末と比べ197,075千円増加しております。これは、主として支払手形及び買掛金が127,036千円増加、預り金が40,930千円増加したことによるものです。

当連結会計年度末における固定負債の残高は1,667,158千円となり、前年度末と比べ94,846千円増加しております。これは、主として長期借入金が33,418千円増加、長期未払金が58,807千円増加したことによるものです。

また、ネット有利子負債(有利子負債－現金及び預金)は858,510千円(前年度末は377,987千円)となり、480,522千円増加しております。この結果、ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債÷自己資本)は1424倍となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は610,876千円となり、前年度末と比べ271,434千円減少しております。これは、主として利益剰余金が337,573千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、358,535千円(前連結会計年度比26.5%減)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出された資金は41,103千円(前連結会計年度得られた資金は57,161千円)となりました。これは、主として未払金が131,264千円減少となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は166,383千円(前連結会計年度支出された資金は657,829千円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出173,824千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は78,325千円(前連結会計年度得られた資金は417,474千円)となりました。これは主に長期借入れによる収入400,000千円である一方、長期借入金の返済による支出338,682千円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年6月期	2019年6月期
自己資本比率(%)	28.3	19.3
時価ベースの自己資本比率(%)	275.5	165.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	14.7	△30.6
インタレスト・ガバレッジ・レシオ(倍)	5.3	△2.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

## <訂正後>

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、海外通商問題の動向や政策に関する不確実性の影響などもあり、先行きについて一層留意すべき状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは産業廃棄物処理事業において基盤となる事業を展開しつつ、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。事業基盤の強化については、再生樹脂製造販売事業の新規事業として愛知県一宮市に新工場を開設しナイロンリサイクル事業を開始し収益源の多様化を図るとともに、昨年開始した製鋼副資材事業も旺盛な需要を背景に順調に成長しております。また産業廃棄物処理事業では廃プラ等の処理コスト急騰により収益が悪化しておりましたが価格転嫁について顧客理解を得る活動を継続したこと、新基幹システムを導入し現場から管理部門までの伝票処理等をデジタル化したことによるオペレーションの効率化、管理コストの削減などを実現したことなどから収益力は回復しており、今後の効率的な事業拡大が可能になりました。また更なる事業領域の拡大に向けて積極的に研究開発投資を継続するとともに、グループ各事業の収益管理及びコーポレート機能強化を目的として、新年度より事業部制の導入を決定しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高 2,526,299 千円 (前年同期比 4.8%増)、営業損失 255,357 千円 (前年同期は営業利益 11,945 千円)、経常損失 289,961 千円 (前年同期は経常損失 15,878 千円)、親会社株主に帰属する当期純損失 343,754 千円 (前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益 57,174 千円) となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、記載のセグメント別売上高はセグメント間取引の相殺前の数値です。

#### (再生樹脂製造販売事業)

再生樹脂製造販売事業につきましては、企業の持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組みの高まりなどから、弊社へのカーペットタイルの処理委託並びに再生樹脂原料の需要は底堅く推移しています。また新しく立上げたリサイクルナイロン製品及びプラスチック廃棄物の再生に関する新規問い合わせも増加しております。一方、八千代工場で行った大幅な保守・メンテナンス実施が想定以上に長引き、再生樹脂の生産数量減少及び使用済みカーペットタイルの受入制限などに繋がりました。また新規ナイロン樹脂再生事業として一宮工場の立ち上げ費用が増大したことや、受注に向けて動いておりました大型案件が翌期にずれこむことになりました。その結果、売上高は 766,875 千円 (前年同期比 0.8%増) となり、セグメント損失は 261,700 千円 (前年同期はセグメント損失 50,718 千円) となりました。

#### (産業廃棄物処理事業)

産業廃棄物処理事業につきましては、カーペットタイルリサイクルに関連したオフィス系改修工事を伴う内装系廃棄物処理は順調に推移しております。またマンション等のリフォーム・リノベーション案件においても、解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスにより多くの引き合いを頂き、業績に寄与しております。その一方、前期から引き続き中国の廃プラスチック輸入禁止の影響を受け、廃棄物処分費が大幅に高騰、またオリンピック需要を含む建設系需要の高まりから外注加工費のコスト上昇が続きました。得意先への価格転化は下半期には理解が得られ収益が改善しましたが、結果として売上高は 1,771,504 千円 (前年同期比 6.1%増)、セグメント利益は 177,138 千円 (前年同期比 34.4%減) となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は 1,110,676 千円 となり、前年度末と比べ 57,665 千円 減少しております。これは主として現金及び預金が 138,259 千円 減少、商品及び製品が 121,355 千円 増加、その他が 30,725 千円 減少したことによるものです。

当連結会計年度末における固定資産は 1,944,400 千円 となり、前年度末と比べ 85,114 千円 増加しております。これは、主として有形固定資産が 145,950 千円 増加、投資その他の資産が 63,848 千円 減少したことによるものです。

当連結会計年度末における繰延資産は 58,077 千円 となり、前年度末と比べ 16,493 千円 減少しております。これは、開業費を 16,493 千円 償却したことによるものです。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は 843,886 千円 となり、前年度末と比べ 196,309 千円 増加しております。これは、主として支払手形及び買掛金が 126,595 千円 増加、その他が 55,244 千円 増加したことによるものです。

当連結会計年度末における固定負債の残高は 1,664,572 千円 となり、前年度末と比べ 92,260 千円 増加しております。これは、主として長期借入金が 33,418 千円 増加、長期未払金が 58,807 千円 増加したことによるものです。

また、ネット有利子負債（有利子負債－現金及び預金）は 1,454,030 千円（前年度末は 1,159,311 千円）となり、294,719 千円 増加しております。この結果、ネット D/E レシオ（ネット有利子負債÷自己資本）は 2.4 倍 となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産は 604,695 千円 となり、前年度末と比べ 277,614 千円 減少しております。これは、主として利益剰余金が 343,754 千円 減少したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、358,535 千円（前連結会計年度比 26.5% 減）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出された資金は 58,800 千円（前連結会計年度得られた資金は 57,161 千円）となりました。これは、主としてたな卸資産が 114,242 千円 増加し、法人税等が 61,269 千円 還付された事によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は 160,970 千円（前連結会計年度支出された資金は 657,829 千円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出 168,249 千円 によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は 90,610 千円（前連結会計年度得られた資金は 417,474 千円）となりました。これは主に長期借入れによる収入 400,000 千円 である一方、長期借入金の返済による支出 338,682 千円 によるものであります。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018 年 6 月期	2019 年 6 月期
自己資本比率(%)	28.3	19.2
時価ベースの自己資本比率(%)	275.5	156.4

キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	14.7	<u>△31.6</u>
インタレスト・ガバレッジ・レシオ (倍)	5.3	<u>△3.2</u>

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。



○添付資料 8 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	540,230	401,970
受取手形及び売掛金	346,021	348,476
商品及び製品	74,452	195,911
仕掛品	18,640	10,733
原材料及び貯蔵品	33,135	29,835
前払費用	37,494	18,737
未収還付法人税等	61,269	81,770
その他	57,404	27,188
貸倒引当金	△304	△866
流動資産合計	1,168,342	1,113,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	876,640	915,942
機械装置及び運搬具	801,124	1,071,210
工具、器具及び備品	76,806	80,556
土地	102,100	102,100
リース資産	111,533	150,052
建設仮勘定	24,915	38,073
減価償却累計額	△494,653	△708,743
有形固定資産合計	1,498,467	1,649,191
無形固定資産		
投資その他の資産	11,259	14,252
投資有価証券	30,000	20,000
繰延税金資産	206,040	164,827
敷金及び保証金	97,424	101,386
その他	17,936	12,496
貸倒引当金	△1,842	△11,300
投資その他の資産合計	349,559	287,409
固定資産合計	1,859,286	1,950,854
繰延資産		
開業費	74,570	58,077
繰延資産合計	74,570	58,077
資産合計	3,102,200	3,122,687

<訂正後>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	540,230	401,970
受取手形及び売掛金	346,021	347,765
商品及び製品	74,452	195,807
仕掛品	18,640	10,733
原材料及び貯蔵品	33,135	29,520
前払費用	37,494	18,737
未収還付法人税等	61,269	81,772
その他	57,404	26,679
貸倒引当金	△304	△2,309
流動資産合計	1,168,342	1,110,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	876,640	913,030
機械装置及び運搬具	801,124	1,038,324
工具、器具及び備品	76,806	80,556
土地	102,100	102,100
リース資産	111,533	150,052
建設仮勘定	24,915	38,073
減価償却累計額	△494,653	△677,719
有形固定資産合計	1,498,467	1,644,417
無形固定資産		
投資その他の資産	11,259	14,272
投資有価証券	30,000	20,000
繰延税金資産	206,040	162,873
敷金及び保証金	97,424	101,386
その他	17,936	13,005
貸倒引当金	△1,842	△11,554
投資その他の資産合計	349,559	285,710
固定資産合計	1,859,286	1,944,400
繰延資産		
開業費	74,570	58,077
繰延資産合計	74,570	58,077
資産合計	3,102,200	3,113,154

○添付資料9ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,973	176,279
1年内返済予定の長期借入金	291,592	319,492
リース債務	27,876	34,134
未払金	192,196	180,872
未払費用	50,535	44,380
未払法人税等	17,800	6,900
未払消費税等	5,511	14,256
その他	13,090	68,335
流動負債合計	647,577	844,652
固定負債		
長期借入金	1,325,652	1,359,070
リース債務	54,420	67,353
資産除去債務	149,095	153,016
長期未払金	—	58,807
繰延税金負債	43,144	28,911
固定負債合計	1,572,312	1,667,158
負債合計	2,219,889	2,511,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	408,372	439,219
資本剰余金	456,410	487,258
利益剰余金	13,978	△323,595
自己株式	△96	△96
株主資本合計	878,665	602,786
新株予約権	3,645	8,089
純資産合計	882,310	610,876
負債純資産合計	3,102,200	3,122,687

<訂正後>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,973	175,569
1年内返済予定の長期借入金	291,592	319,492
リース債務	27,876	34,425
未払金	192,196	180,872
未払費用	50,535	44,565
未払法人税等	17,800	6,368
未払消費税等	5,511	14,256
その他	13,090	68,335
流動負債合計	647,577	843,886
固定負債		
長期借入金	1,325,652	1,359,070
リース債務	54,420	67,061
資産除去債務	149,095	153,016
長期未払金	—	58,807
繰延税金負債	43,144	26,616
固定負債合計	1,572,312	1,664,572
負債合計	2,219,889	2,508,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	408,372	439,219
資本剰余金	456,410	487,258
利益剰余金	13,978	△329,775
自己株式	△96	△96
株主資本合計	878,665	596,605
新株予約権	3,645	8,089
純資産合計	882,310	604,695
負債純資産合計	3,102,200	3,113,154

○添付資料 10 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

<訂正前>

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年 7月 1日 至 2018年 6月 30日)	当連結会計年度 (自 2018年 7月 1日 至 2019年 6月 30日)
売上高	2,410,719	2,526,299
売上原価	1,779,671	2,076,529
売上総利益	631,048	449,769
販売費及び一般管理費	619,102	706,421
営業利益又は営業損失(△)	11,945	△256,651
営業外収益		
受取利息	114	405
受取配当金	9	9
物品売却益	—	1,022
作業くず売却益	1,609	668
その他	1,656	2,150
営業外収益合計	3,389	4,256
営業外費用		
支払利息	16,005	17,665
開業費償却	15,087	16,493
その他	120	1,148
営業外費用合計	31,213	35,308
経常損失(△)	△15,878	△287,703
特別利益		
固定資産売却益	632	2,543
特別利益合計	632	2,543
特別損失		
固定資産除却損	183	1,220
投資有価証券評価損	—	9,999
貸倒引当金繰入額	—	10,254
特別損失合計	183	21,475
税金等調整前当期純損失(△)	△15,429	△306,635
法人税、住民税及び事業税	6,272	3,958
法人税等調整額	△78,875	26,979
法人税等合計	△72,603	30,938
当期純利益又は当期純損失(△)	57,174	△337,573
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	57,174	△337,573

## <訂正後>

(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,410,719	2,526,299
売上原価	1,779,671	<u>2,071,595</u>
売上総利益	631,048	<u>454,704</u>
販売費及び一般管理費	619,102	<u>710,062</u>
営業利益又は営業損失(△)	11,945	<u>△255,357</u>
営業外収益		
受取利息	114	405
受取配当金	9	9
物品売却益	—	1,022
作業くず売却益	1,609	668
補助金収入	—	500
その他	1,656	<u>1,650</u>
営業外収益合計	3,389	4,256
営業外費用		
支払利息	16,005	18,483
開業費償却	15,087	16,493
その他	120	<u>3,882</u>
営業外費用合計	31,213	<u>38,860</u>
経常損失(△)	△15,878	<u>△289,961</u>
特別利益		
固定資産売却益	632	2,543
特別利益合計	632	2,543
特別損失		
固定資産除却損	183	<u>6,017</u>
投資有価証券評価損	—	9,999
貸倒引当金繰入額	—	10,254
特別損失合計	183	<u>26,272</u>
税金等調整前当期純損失(△)	△15,429	<u>△313,691</u>
法人税、住民税及び事業税	6,272	<u>3,424</u>
法人税等調整額	△78,875	26,979
法人税等合計	△72,603	<u>30,063</u>
当期純利益又は当期純損失(△)	57,174	<u>△343,754</u>
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	57,174	<u>△343,754</u>

○添付資料 11 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

<訂正前>

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	57,174	<u>△337,573</u>
包括利益	57,174	<u>△337,573</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	57,174	<u>△337,573</u>
非支配株主に係る包括利益	—	—

<訂正後>

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	57,174	<u>△343,754</u>
包括利益	57,174	<u>△343,754</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	57,174	<u>△343,754</u>
非支配株主に係る包括利益	—	—

○添付資料 12 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(3) 連結株主資本等変動計算書

<訂正前>

当連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	408,372	456,410	13,978	△96	878,665	3,645	882,310
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	30,847	30,847			61,695		61,695
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△337,573		△337,573		△337,573
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						4,444	4,444
当期変動額合計	30,847	30,847	△337,573	△96	△275,878	4,444	△271,434
当期末残高	439,219	487,258	△323,595	△96	602,787	8,089	610,876

<訂正後>

当連結会計年度（自 2018年7月1日 至 2019年6月30日）

(単位：千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	408,372	456,410	13,978	△96	878,665	3,645	882,310
当期変動額							
新株の発行	30,847	30,847			61,695		61,695
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△343,754		△343,754		△343,754
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						4,444	4,444
当期変動額合計	30,847	30,847	△343,754	—	△282,059	4,444	△277,614
当期末残高	439,219	487,258	△329,775	△96	596,605	8,089	604,695



○添付資料 13 ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年 7月 1日 至 2018年 6月 30日)	当連結会計年度 (自 2018年 7月 1日 至 2019年 6月 30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△15,429	△306,635
減価償却費	134,649	176,646
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△342	10,019
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,286	—
受取利息及び受取配当金	△123	△414
支払利息	16,005	17,665
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	9,999
固定資産除売却損益 (△は益)	183	△1,322
売上債権の増減額 (△は増加)	△56,986	△1,912
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△42,046	△110,251
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,600	127,306
未払金の増減額 (△は減少)	72,797	△58,467
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,797	19,319
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△17,665	26,024
その他	6,197	93,265
小計	73,755	1,241
利息及び配当金の受取額	123	414
利息の支払額	△14,465	△16,500
法人税等の支払額	△65,736	△87,529
法人税等の還付額	63,483	61,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,161	△41,103
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△49,524	△36,001
定期預金の払戻による収入	12,000	45,100
有形固定資産の取得による支出	△581,403	△173,824
有形固定資産の売却による収入	718	7,218
無形固定資産の取得による支出	△8,965	△4,474
投資有価証券の取得による支出	△30,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△974	△4,613
敷金及び保証金の戻入による収入	318	210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657,829	△166,383
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△647,000	—
長期借入れによる収入	1,335,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△251,197	△338,682
リース債務の返済による支出	△26,828	△41,514
株式の発行による収入	—	61,695
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,500	—
割賦債務の返済による支出	—	△3,172
財務活動によるキャッシュ・フロー	417,474	78,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△183,194	△129,160
現金及び現金同等物の期首残高	670,890	487,696
現金及び現金同等物の期末残高	487,696	358,535

<訂正後>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△15,429	△313,691
減価償却費	134,649	176,411
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△342	11,717
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,286	—
受取利息及び受取配当金	△123	△414
支払利息	16,005	18,483
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	9,999
固定資産除売却損益 (△は益)	183	3,474
売上債権の増減額 (△は増加)	△56,986	△1,744
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△42,046	△114,242
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,600	126,595
未払金の増減額 (△は減少)	72,797	△58,467
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,797	11,625
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△17,665	33,153
その他	6,197	41,187
小計	73,755	△55,910
利息及び配当金の受取額	123	414
利息の支払額	△14,465	△17,416
法人税等の支払額	△65,736	△47,157
法人税等の還付額	63,483	61,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,161	△58,800
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△49,524	△46,435
定期預金の払戻による収入	12,000	55,434
有形固定資産の取得による支出	△581,403	△168,249
有形固定資産の売却による収入	718	7,156
無形固定資産の取得による支出	△8,965	△4,474
投資有価証券の取得による支出	△30,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△974	△4,613
敷金及び保証金の戻入による収入	318	210
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657,829	△160,970
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△647,000	—
長期借入れによる収入	1,335,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△251,197	△338,682
リース債務の返済による支出	△26,828	△29,687
株式の発行による収入	—	61,695
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,500	—
その他	—	△2,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	417,474	90,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△183,194	△129,160
現金及び現金同等物の期首残高	670,890	487,696
現金及び現金同等物の期末残高	487,696	358,535

○添付資料16ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

<訂正前>

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	758,509	1,767,790	2,526,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,366	3,714	12,081
計	766,875	1,771,504	2,538,380
セグメント利益又は損失(△)	<u>△264,074</u>	<u>243,364</u>	<u>△20,709</u>
セグメント資産	<u>2,109,441</u>	<u>981,507</u>	<u>3,090,948</u>
その他の項目			
減価償却費	<u>134,484</u>	41,954	<u>176,439</u>
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	<u>230,606</u>	<u>97,617</u>	<u>328,224</u>

<訂正後>

当連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	758,509	1,767,790	2,526,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,366	3,714	12,081
計	766,875	1,771,504	2,538,380
セグメント利益又は損失(△)	<u>△261,700</u>	<u>177,138</u>	<u>△84,562</u>
セグメント資産	<u>2,103,823</u>	<u>977,778</u>	<u>3,081,602</u>
その他の項目			
減価償却費	<u>134,249</u>	41,954	<u>176,204</u>
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	<u>248,828</u>	<u>89,948</u>	<u>338,776</u>

○添付資料17ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

<訂正前>

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,431,165	2,538,380
セグメント間取引消去	△20,446	△12,081
連結財務諸表の売上高	2,410,719	2,526,299

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	219,400	<u>△20,709</u>
全社費用(注)	△206,284	△232,580
セグメント間消去	△280	<u>33</u>
未実現利益の調整額	△889	<u>△3,394</u>
連結財務諸表の営業利益	11,945	<u>△256,651</u>

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,053,675	<u>3,090,948</u>
セグメント間の債権の相殺消去	△207,825	<u>△199,852</u>
全社資産(注)	257,508	<u>246,575</u>
未実現利益の調整額	△1,158	<u>△14,983</u>
連結財務諸表の資産合計	3,102,200	<u>3,122,687</u>

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	133,880	<u>176,439</u>	—	—	769	207	134,649	<u>176,646</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	359,438	<u>328,224</u>	—	—	—	—	359,438	<u>328,224</u>

<訂正後>

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,431,165	2,538,380
セグメント間取引消去	△20,446	△12,081
連結財務諸表の売上高	2,410,719	2,526,299

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	219,400	△84,562
全社費用（注）	△206,284	△232,501
セグメント間消去	△280	64,622
未実現利益の調整額	△889	△2,916
連結財務諸表の営業利益	11,945	△255,357

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,053,675	3,081,602
セグメント間の債権の相殺消去	△207,825	△200,764
全社資産（注）	257,508	246,145
未実現利益の調整額	△1,158	△13,828
連結財務諸表の資産合計	3,102,200	3,113,154

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	133,880	176,204	—	—	769	207	134,649	176,411
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	359,438	338,776	—	—	—	△140	359,438	338,636

○添付資料19ページ 3. 連結債務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(1株当たり情報)

<訂正前>

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	292円42銭	197円64銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	19円05銭	△111円91銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	18円60銭	—

(注) 1. 当連結会計年度においては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	57,174	△337,573
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	57,174	△337,573
普通株式の期中平均株式数(株)	3,001,562	3,016,439
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	72,342	—
(うち新株予約権(株))	(72,342)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第9回新株予約権 普通株式 116,000株 第10回新株予約権 普通株式 12,600株	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	882,310	610,876
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	3,645	8,089
(うち新株予約権(千円))	(3,645)	(8,089)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	878,665	602,786
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,004,850	3,049,850

<訂正後>

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり純資産額	292円42銭	195円62銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	19円05銭	△113円96銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	18円60銭	—

(注) 1. 当連結会計年度においては、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年7月1日 至 2018年6月30日)	当連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	57,174	△343,754
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	57,174	△343,754
普通株式の期中平均株式数(株)	3,001,562	3,016,439
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	72,342	—
(うち新株予約権(株))	(72,342)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第9回新株予約権 普通株式 116,000株 第10回新株予約権 普通株式 12,600株	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当連結会計年度 (2019年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	882,310	604,695
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	3,645	8,089
(うち新株予約権(千円))	(3,645)	(8,089)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	878,665	596,605
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,004,850	3,049,850

以上